

はっぴいイースター in 宝塚

ギターコンサート&ワークショップ

4/22(土) コンサート 14:00~ (入場無料)
ワークショップ 15:15~ (1,000円)

演奏&インストラクター: 井草聖二



プロフィール

兵庫県出身。1988年生まれ。ゴスペル、ワーシップソング、R&Bを得意とするアコースティックギタリスト。15歳よりギターを始め、学生の頃から押尾コタロー、トミーエマニュエルなどのオープニングアクトを務める。2009年4月アコースティックギターの全国大会 FINGER PICKING DAY 2009 に出場、「最優秀賞」「オリジナルアレンジ賞」を受賞。20歳でプロデビュー、ファーストミニアルバム「introduction」リリース。2010年9月米カンザス州で開催された世界規模のギターコンテスト、39th Walnut Valley Festival「International Fingerstyle Guitar Championship」に日本代表で出場。Top5 に選ばれる。現在東京を拠点に、ソロ・ライブ活動の他、テレビやラジオの音楽など制作、サポート、ギター講師としても精力的に活動中。YouTube/ニコニコ動画の各再生回数は100万回を超える。またギターデュオ SOULGAUGE としても活動中。2014年にファーストアルバム「Born in Street」でデビュー。2015年リリース 2nd アルバムで小林幸子とコラボレーションしたことで話題に。

僕は牧師家庭に生まれ、ものごころ着く頃から教会は身近な存在でした。中学2年生の時、友人関係で悩み、1年間引きこもっていました。毎日暇を持て余すような中で、ギターと出会い、教会で賛美する中で、徐々に引きこもりの生活から脱出していきました。あるとき教会の友人が僕の心が開かれるようにと、ずっと信じて神様に祈ってくれていたことを知りました。それがきっかけで、「神様の愛」を実感し、心が解放されました。ギター演奏を通してその愛を伝えていけたらなと思っています。 井草聖二

ワークショップは事前エントリー制になります。
エントリーはホームページから!

<http://www.takarazuka-kiriren.com>

井草さんの演奏動画など、詳しい情報も見られます。

教会からのオススメの一冊

「レンブラントのイースター」

イェルク・ツィンク著/伊藤公子訳
(一麦出版社)



「イースター物語」

ボブ・ハートマン著/ナディン・ウィッケンデン絵
/女子パウロ会訳編(女子パウロ会)

イースターって一体何なのでしょう?一体何をお祝いしているのでしょうか?イースターのことをよく知らないあなたへ、この2冊をお薦めします。

「レンブラントの・・・」は、いくつも聖書の場面を生き活きた絵画に表したレンブラントの作品の中から、イースターに関連した数点にフォーカスを当て、そこに秘められたメッセージを探ります。解説を読み解くのに多少むずかしさがあるかもしれませんが、より深くレンブラントの作品を味わうことができます。

「イースター物語」は、子どもへの読み聞かせというスタイルをとり、とてもわかりやすくイースター前後の出来事を語ります。イースターのことは知りたいけど、いきなり聖書に挑戦するのはハードルが高い、という方にぜひ読んでいただきたい一冊です。

INFORMATION

チャペルコンサートVol.44

5/21(日) 16:00~ 入場無料

演奏: 友枝 良平 (オカリナ)



ケアプラン デイサービス オリーブの実

お気軽にお問い合わせ、
ご相談ください。

「ケアプラン オリーブの実」 「デイサービス オリーブの実」

☎:0797-73-6055 ☎:0797-73-6077

ケアプラン・デイサービスオリーブの実の
ホームページが新しくなりました!

<http://hp.kaipoke.biz/gev/>

教会ホームページのバナーからもアクセスできます。

宝塚栄光教会

牧師: 岩間 洋

〒665-0021 宝塚市中州1-15-9 TEL:0797-73-6076

E-mail: info@takara-eikou.com <http://www.takara-eikou.com>

希望のダイヤル

毎週更新。24時間つながります。

0797-77-3746

ポッドキャスト

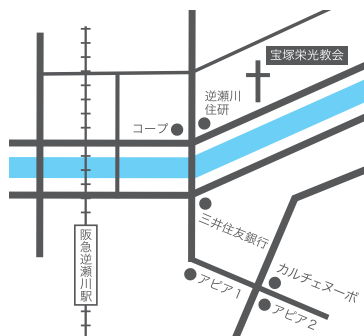
でも配信!

ホームページから
利用できます。

礼拝 毎週日曜日

10:30~11:40

わたしたちは統一教会、ものみの塔(エホバの証人)、モルモン教ではなく、正統的なプロテスタントのキリスト教会です。お困りの方はご相談ください。



先に進まれる復活の主

イースターおめでとうございます。

人類最後の敵と言われる死は、私たちが絶望へと追いやります。だれも死をまぬがれることはできません。どんなに名声を博した人も、財を築いた人も、社会的に貢献した人も、死ななくても済む人など一人もいないのです。

そして、たいていの人は死を恐れます。なぜでしょうか。それは、自分はこのままでは裁かれるのではないか、と思うからです。死と裁き、これは全人類の定めと言ってもいいでしょう。聖書に「人間には、一度死ぬことと死後にさばきを受けることが定まっている」と書かれているとおります。

しかし、イエス・キリストは、その人間の宿命を全く新しく変えてくださいました。ご自分が死の中から復活されることによってです。キリストは、罪のない神の子でしたが、十字架にかかって死なれました。それは、神様に背を向けて、自分勝手な歩みが続けてきた罪びとの私たちの身代わりでした。キリストは私たちに代わって、神様からの罰を受けるようにして十字架で死なれたのです。

けれども、神の子キリストが、死んでおしまいになるはずはありませんでした。キリストは墓に葬られましたが、三日目によみがえられたのです。キリストの体に香料を塗るために墓に来た女性たちに、天使がこう言いました。「イエスは、あなたがたより先にガリラヤへ行かれます。前に言われたとおりに、ここで会いできます。」(マルコの福音書16章7節)

天使のメッセージは、復活のキリストが先にガリラヤに行かれるということでした。“キリストが先に行かれる”、これは私たちに大きな励ましのメッセージです。私たちは、様々な困難や試練にあいます。“もうだめだ”と思うようなこともあります。その究極が死です。しかし、私たちの主キリストが先に進まれます。私たちのために十字架にかかって死なれ、復活されたキリストが、私たちに先立って進まれるのです。このキリストを見上げて従っていくなら、私たちも勝利することができます。罪と死と困難・試練に対して、打ち勝っていくことができるのです。先に進まれる十字架と復活のキリストを信じましょう。

「レンゲソウ」



春 田んぼが一面 レンゲソウの紅紫色に
彩られる風景は 春の農村の風物詩であった

前年の秋 稲刈りが終わると 田んぼにレンゲの種を播く
春に 花が咲いた後 土にすき込んで 肥料とする
これを 緑肥というそうだ
レンゲの根のバクテリアが 稲にとっては 良い肥料であった

そんなことは つゆしらず 田んぼに入って行って
花を摘んで興じた 幼い記憶が よみがえる
首飾りや 腕輪をつくったり 頭に冠を乗せた
淡い思い出が 甘い花の香りと共に 残っている

レンゲの花の奥に 蜜があると知っていた
養蜂家の箱が 並んだところも 見たことがある
ころんとした レンゲの花の 蝶々に似た花びらから
上質のハチミツがとれるのだ

春の若芽のおひたしや 油炒め 花を天ぷらにと 食用にもできる
また 全草を干して 煎じて 利尿 解熱 リウマチの民間薬にするなど
レンゲは 身近かな存在であった

花言葉は 「私の苦しみを和らげる」「心が和らぐ」

かつては 土地改良にと 盛んに栽培されたレンゲが
化学肥料が 使われるようになって あまり見かけない

かつては 一面に咲く様子に 紫色の雲が 広がっているように
見えるとあって 紫雲英と呼ばれもした

かつては 人が種を播いたものだが 今や荒地に 野生化して広がっている
人の都合とは別に咲く レンゲには 命のたくましさがある

そして どこに咲いていても やっぱり花は どれも美しい

恐れることはない わたしは あなたと共にいる神
たじろぐな わたしは あなたの神
勢いを与えて あなたを助け
わたしの救いの右の手で あなたを支える

イザヤ書41章(聖書)